

を入れました。
環境問題意識向上委員会では、企業におけるSDGsの取り組みについての卓話をしていたいただきました。
雑誌・会報委員会は、週報の作成、ロータリーの友の解説を主にやってきました。オリンピックの壁面掲示を“ロータリーの友”に掲載していただきました。染谷年度から始まったYouTube 会長チャンネルも更新。また、児童養護施設カルテットに自転車を寄贈した件は、埼玉新聞に掲載していただきました。9月の担当例会では、テーブルディスカッションを企画しましたが、実施できず残念でした。



■環境問題意識向上委員会 委員長 緒方 学

コロナの影響で計画していたことができませんでした。コロナに罹患してしまったこともあり、反省すべきこともありますし残念な気持ちです。次年度も環境教育を担当する予定ですので、引き続きやっていきたいと思います。1年間ありがとうございました。

■会員増強維持委員会 委員長 胡 平
本日は、部門委員長の高橋誠一氏が欠席の為、代わってお話します。
次年度では第一に出席率を向上させることが重要だと思います。そして、ロータリー仲間同士の仕事上の交流・関係・情報交換等の連絡を取り合い、協力してお互いの事業の発展を目指していけば、おのずと仲間が増えて会員増強に繋がっていくでしょう。
今年度の会員数は、6/30付の退会者1名を入れて合計3名の退会者、入会者は2名になりました。これからコロナも終息に向かうと思われるので、会員間の交流を増やししながら会員増強のための声掛けを、継続的にお願いしたいと思います。



■財団支援部門 部門委員長 竹内 雅人

ロータリー財団委員会と米山記念奨学委員会があります。地区の財団では、資金への配分などが変化しています。卓話をお願いして教えていただきました。福田会長・清水会員にはベネファクターありがとうございました。
米山としては、優秀なグエンティガンさんが来ています。日本の背景・文化などとてもよく勉強してくれていて、日商簿記2級にも合格しました。ベトナムとの架け橋になってくれるものと思います。

■ロータリー財団委員会 委員長 荒井 理人

当委員会では、大宮西のロータリーメンバー全員が財団について深くよく理解している会になることを目指す、という趣旨で年度をスタートさせました。事業としては、パストガバナーの中川 高志 様に卓話をいただき、ロータリー財団、国際ロータリーと財団の使命、財団のプログラム、資金の配分、寄付金の流れ、グローバル財団について解りやすく説明していただきました。1年間ありがとうございました。

■奉仕部門 部門委員長 井上 勝美

当部門は職業奉仕委員会 吉田委員長、社会奉仕委員会 風岡委員長、国際奉仕委員会 増永委員長、シスター

ークラブ委員会(国際大会参加含む) 矢部委員長の4委員会にて年度計画書に基づき運営して参りました。南投 RC との調印式、ヒューストン国際大会参加、タイ バンコク スリウォン RC 訪問、ラオ・フレンズ小児病院の訪問ができず残念でした。1年間ありがとうございました。

・社会奉仕委員会 7/28、児童養護施設 カルテットへ自転車を 10 台寄贈し贈呈式を行いました。「自転車に乗るのが初めて」という子どももいたようで大変感謝されました。贈呈後、早速子どもたちが嬉しそうに施設内を自転車で走り回っていた光景が印象的でした。8/2の例会で福田施設長に卓話をいただきました。8/16、埼玉県立特別支援学校大宮ろう学園に TV モニターを寄贈いたしました。12/13の例会に校長の荒井宏昌様をお招きして、贈呈式を行い、活用状況の卓話をいただきました。

・職業奉仕委員会 吉田委員長と1/31に、氷川神社 奥竹荘での公式参拝例会を企画しておりました。が、新型コロナまん延防止等重点措置が発令され、中止となりました。



■国際奉仕委員会 委員長 増永 裕樹

今年度は、ラオスのラオ・フレンズ小児病院へ顕微鏡を提供しました。コロナ禍の影響で事業は、対内外ともに基本的にオンライン、具体的には Zoom やメールでのやりとりが中心で、委員会も Zoom 開催となり残念でした。

一方、担当例会はオンラインを通じてのふれあいとなりましたが、先方の赤尾様が知恵を絞ってくださり、臨場感がある内容となりました。顕微鏡という専門的な機器の現場での活用方法を具体的に示していただいたことで、クラブの支援がどのような価値があるかという認識を浸透させる一助になったと思っています。1年間のご支援、ありがとうございました。

■シスタークラブ委員会

シスタークラブ委員長 矢部 正博

台湾・南投ロータリークラブに表敬訪問し、5年更新の調印式を行う予定でしたが、コロナ禍で中止となってしまいました。そのため、少しでもシスタークラブを感じていただくために、例会時に台湾料理を提供させていただきました。また、ヒューストンで開催されました国際大会にも参加できなかったため、国際大会に参加の経験のある荒井会員と内山会員に国際大会についての卓話をさせていただきました。大変有意義な卓話になり、国際大会の理解が深まりました。

■青少年奉仕部門 部門委員長 横溝 一樹

主な活動の柱である留学生派遣及び受け入れ事業は、コロナ感染症の影響で、青少年交換・日韓インターアクト交流ともに本年度も取りやめとなってしまいました。また、インターアクトクラブの方も積極的な活動ができない状況にありました。

そのような中ですが、5月の担当例会では藤池会員・小島会員の留学生受け入れの体験談を通じて青少年奉仕活動の意義をお伝えいただきました。また米山記念奨学生のグエンティガンさんを「ロータリー青少年指導者養成プログラム(RYLA)」に送り出し、研修を受けてもらいました。クラブとしてもまたガンちゃんにとっても成果のある活動になったのではないかと感じております。ありがとうございました。

